3．子どもが学びたくましく成長する教育環境の整備

①　生きる力を育む園・学校教育の充実

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	「性」に対する教育の充実	命の大切さを知ると共に性感染症に対しての正しい知識を身につけるための講演会の実施。 乳児と直接触れ合う機会をつくり、命の大切さを学ぶ。
就学児童支援	「性」に対する教育の充実	男女の性の違いを知り、男女が互いに尊重し合う態度を身に付ける。
就学前児童、就学児童支援	開かれた園・学校づくり	学校評議員制度の活用と外部評価の導入を行う。
就学前児童、就学児童支援	外国語指導助手（ＡＬＴ）の活用	外国語指導助手を全市立小中学校へ派遣する。また市立幼稚園、保育園への派遣を行う。
就学児童支援	確かな学力のための指導充実	児童生徒の学習向上をめざして、小中学校到達度テストの実施と分析、副読本の整備、教師用指導資料の充実を図る。
就学前児童、就学児童支援	保育園、幼稚園、学校施設の整備	学校、園施設の耐震診断に基づき、建築年次・強度・地域を考慮して順次耐震補強を行う。
就学児童支援	教育課程推進指定校活動の推進	「基礎的・基本的な内容の確実な習得と定着」の徹底と「個性を生かし問題解決能力を重視した教育」の二面から教育を推進する。
就学児童支援	教育相談体制の充実	教育相談員による各種相談と、適応指導教室「かやの木教室」「あけぼの」における支援事業を行う。
就学児童支援	次世代の親体験活動の推進	中高校生などの保育実習や体験学習を受け入れ（各校 4～20 日/年）、園児と関わることで関わり方を学び「小さい子がかわいい」と思えるように促す。
就学前児童、就学児童支援	小動物とふれあう環境の整備	園児・児童に小動物を愛護する気持ちを育み、情操教育を通じて命の大切さを学ばせる。
就学児童支援	生きる力が育つ生徒指導の充実	子どもが問題に直面したときに、周りの力を借りながら主体的に解決していく力をつけられるよう、効果的な指導のあり方を追求する。
就学児童支援	生活習慣病予防教室の実施	高脂血症等生活習慣から引き起こされる疾病が学童期から発症し始めており、その予防のため、体の仕組みと、よりよい生活習慣を学ぶ。
就学児童支援	青少年相談の推進	青少年の悩みごと相談を行う。また相談員と関係機関との連携を強化する。

今後の方向	項目	現状	目標 21 年度	担当課
継続	―	3 校	3 校	健康医療課
継続	実施校	31 校	31 校	学校教育課
拡充	設置率（%） 外部評価実施校数	100.0% 31 校	100.0% 31 校	学校教育課
拡充	派遣校（園）数 ＡＬＴ採用数	64 校 9 人	64 校 9 人	学校教育課
継続	児童生徒 1 人あたりの費用（円）	150 円	170 円	学校教育課
拡充	耐震補強必要施設	校舎　9 校 屋内運動場 8 校 幼稚園 1 園 保育園 7 園	3 校 2 校 0 園 2 園	教育企画課 幼児教育課
継続	課題研究報告数	8 校	8 校	学校教育課
継続	相談員等の数	5 人	6 人	教育研修所
継続	実施日数	4～20 日/年	継続	幼稚園 保育園
継続	学校訪問回数	25 回	30 回	学校教育課 幼児教育課
継続	問題を抱える児童生徒数	80 人	60 人	学校教育課
継続	実施校	2 校	2 校	健康医療課
継続	相談員 相談日	3 人 週 3 日	3 人 週 3 日	少年センター

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	中学保健授業と乳幼児学級 中学保健授業と保育園	０～２歳までの乳幼児と中学２年生の生徒とのふれあい事業を実施する。 保育園児と中学３年生の生徒とのふれあい事業を実施する。
就学前児童、就学児童支援	民生委員・主任児童委員による支援	民生委員・主任児童委員による子育てや生活に関する相談と支援活動を実施する。
就学児童支援	夢と創造力を育む総合的学習の推進	各校の創意工夫により基礎基本の定着を図る。地域の特色を生かし、地域に根ざす個性的な教育推進と総合的な学習を目指す。地域の人材を活用するなどいろいろな学習機会を設ける。
就学児童支援	多様な体験活動の機会の充実	農業体験、自然体験学習への取組みを充実する。
就学児童支援	生徒の施設体験の受入指導	中学生が施設を訪問して職場体験や多様な体験学習をする。
就学児童支援	保育所体験	中学校３年生対象。

今後の方向	項目	現状	目標 21 年度	担当課
継続	実施回数	年 4 回 年 2 回	年 4 回 年 2 回	加子母文化スポーツ課
継続	―	実施	継続	福祉相談室
継続	企画提案数	31 校	31 校	学校教育課
継続	―	1 事業	1 事業	蛭川文化スポーツ課 蛭川小中学校
継続	実施回数	年 1 回	継続	蛭川文化スポーツ課 蛭川中学校
継続	―	実施	継続	蛭川文化スポーツ課 蛭川中学校

②　家庭や地域の教育力の向上（園・学校の教育環境の整備）

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	あいさつ運動	青少年育成委員会とＰＴＡにより児童への声かけ等を行う。また、標語募集を実施する。
就学児童支援	全住民声かけ・あいさつの推進	出会った人が挨拶を交わし、特に子どもに声をかけ見守る。
就学児童支援	いきいき体験教室事業	毎月第 3 土曜日に、小中学生を対象に自然を題材にしたさまざまな体験活動を実施する。
就学児童支援	なんでも体験塾なんでも塾	地域のボランティア講師による体験活動講座などを開催する。
就学児童支援	わくわく体験くらぶ	毎月 1 回土曜日に、小・中学生の親子を対象に地域の自然に触れたり、物を作ったりする体験学習を実施する。
就学児童支援	子どもふれあい講座	夏期・冬期休暇における子どもの体験学習を支援する。
就学児童支援	インリーダー研修会	小学校高学年を対象に体験型研修会を開催、各地域のリーダー育成を行う。
就学児童支援	子ども会の育成	子ども会組織の内容の充実と活動の促進援助を通して、子どもの健全育成を図り、明るく住み良いまちづくりに協力する。総会、ジュニアリーダー講習会を開催する。
就学児童支援	子ども会本部事業の開催	小中学校のＰＴＡ会長が中心となり「軽スポーツ大会」「かるた・百人一首大会」を開催。インリーダーと青少年健全育成推進員の協力を得ながら、4 校の小学生の交流を図る。
就学児童支援	地域活動推進	地域子ども会活動を推進し、子どもや家族、地域がふれ合う機会を提供する。

今後の方向	項目	現状	目標 21 年度	担当課
継続	―	実施 実施 実施 未実施 実施 月 2 回	継続 継続 継続 年 1 回 継続 月 2 回	川上文化スポーツ課 付知文化スポーツ課 加子母文化スポーツ課 蛭川文化スポーツ課 坂下文化スポーツ課
継続	参加者数	全住民	全住民	苗木コミュニティセンター
継続	実施件数	年 8 回	年 8 回	川上文化スポーツ課
継続	実施回数	年 18 回 年 8 回	年 18 回 年 8 回	福岡文化スポーツ課 蛭川文化スポーツ課
継続	実施回数	年 8 回	年 12 回	坂下文化スポーツ課
継続	開催回数（茶道教室、木工教室等）	年 6 回	年 10 回	坂下文化スポーツ課 （産業振興課、坂下高校）
継続	実施回数	年 1 回	年 1 回	付知文化スポーツ課
継続	ジュニアリーダー加入者数 ジュニアリーダー活動	47 人 16 回	50 人 20 回	少年センター
継続	実施回数	年 2 回	年 2 回	福岡文化スポーツ課
継続	―	14 地区で実施 情報交換 1 回	14 地区で実施 情報交換 1 回	蛭川文化スポーツ課

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	かるた	学校や地域が連携してのカルタ作成、カルタ遊びを行う。
就学児童支援	書初め大会	書に親しみ、その推進及び発表の場を提供する。
就学児童支援	コミュニティ活動の推進	地域の学習課題をテーマとして取り上げ、学習していく。子育てセミナー、高齢者大学、女性大学、市民大学講座等を実施する。
就学児童支援	学習講座の開催	市民の学習ニーズに応えて、市内外から講師を依頼し自主運営により開催する。子どもからお年寄りまで参加する。
就学前児童支援	保護者の保育体験	保護者に保育士として子供達とふれあい体験をしてもらう。
就学児童支援	地域活動指導者養成	各種講習、研修機会の設定、案内を行う。

今後の方向	項目	現状	目標 21 年度	担当課
継続	―	年 1 回 （大会）	年 1 回 （大会）	蛭川文化スポーツ課
継続	定員数	250 人	300 人	付知文化スポーツ課
継続	延べ開催回数	30 回 17 回 84 回 42 回 30 回 12 回 21 回	30 回 20 回 84 回 42 回 30 回 12 回 21 回	生涯学習課 苗木コミュニティセンター 坂本コミュニティセンター 落合コミュニティセンター 阿木コミュニティセンター 神坂コミュニティセンター 中央公民館
継続	開催回数	200 回 78 回 80 回 2 回 40 回 85 回	200 回 78 回 80 回 2 回 40 回 85 回	中央公民館 坂本コミュニティセンター 落合コミュニティセンター 阿木コミュニティセンター 神坂コミュニティセンター 苗木コミュニティセンター
継続	―	実施	継続	蛭川文化スポーツ課
継続	―	2 回	1 回	蛭川文化スポーツ課

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	せせらぎ図書室の運営	せせらぎ会館内に図書室を設置し、子どものみならず多くの人に利用されている。夏休みには図書室まつりを開催する。
就学前児童支援	子どもの読書活動の推進	公民館図書室の子ども向け図書の購入と貸し出し。
就学児童支援	子ども読書推進事業	付知図書祭りを開催し、子どもたちに、本と接する機会を提供することで興味、関心を高める。
就学児童支援	図書室の整備・充実	図書室の充実や図書まつりなどのイベントにより子どもたちに本を読む楽しさ、大切さを伝える。
就学前児童、就学児童支援	図書館祭り	子どもたちが物を使っての制作、サークル「お話の会」による紙芝居の鑑賞等、親子でふれ合える遊びを行う。
就学児童支援	読み聞かせ会事業	毎月第４土曜日に、地域の幼児・小学生・中学生を対象として「かたらいの里」で実施（読み聞かせサークル「しゃぼん玉」に依頼）。
家庭教育支援の充実	家庭教育に関する学習機会の充実	幼稚園、小学校、保護者、地域住民等と連携した子育て支援や家庭教育に関する学級を開催して、家庭教育充実のための学習の機会を提供する。
就学児童支援	家庭教育学級	小・中学校ＰＴＡにより運営している子育てに関する学習活動を支援する。

今後の方向	項目	現状	目標 21年度	担当課
継続	―	実施	継続	川上文化スポーツ課
継続	施設数	1施設	1施設	各総合事務所文化スポーツ課
継続	実施回数	年2回	年2回	付知文化スポーツ課
継続	―	実施 図書まつり 1回	継続	坂下文化スポーツ課
継続	開催回数	年2回	年2回	蛭川文化スポーツ課
継続	実施回数	月1回	月1回	川上文化スポーツ課
継続	開催回数	10回	10回	山口文化スポーツ課
継続	実施回数	年1回 年1回 年12回 年2回 年1回	年1回 年1回 年12回 年2回 年1回	福岡文化スポーツ課 付知文化スポーツ課 加子母文化スポーツ課 坂下文化スポーツ課 蛭川文化スポーツ課

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	家庭教育支援事業	家庭教育の充実を図るために、親などに対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会の提供等を推進する。 ・就学時健診等を活用した子育て講座、思春期子育て講座等 ・父親の家庭教育への参加を考える集い ・子育てサポーター打合会
就学児童支援	教育のつどい事業	家庭、学校、地域、諸団体による企画委員会、実行委員会を組織し、積極的に連携して子どもたちを育てる各種活動を行う。年１回全体会「教育のつどい」を開催する。
	加子母教育の日	加子母教育協議会が実行委員会となり、家庭、学校、地域、諸団体が積極的に連携して、子どもたちを育てる各種活動を行う。年１回全体会「教育の日」を開催する。
就学前児童、就学児童支援	教育講演会	家庭及び地域教育の重要性を再確認する学習の場を提供する。
就学児童支援	元気キッズ育成の推進	学校週５日制に対する事業で、地域の行事を取り入れた事業や、地域の大人やお年寄りが子どもと一緒に参加できる事業を実施する。

今後の方向	項目	現状	目標 21 年度	担当課
継続	実施学校 実施回数	24 校 3 回 1 回 1 回 月 1 回	31 校 5 回 3 回 1 回 月 1 回	生涯学習課 加子母文化スポーツ課 生涯学習課 加子母文化スポーツ課 生涯学習課
継続	―	実施 企画委員会 5 回 実行委員会 3 回 教育のつどい 1 回	継続 同左	坂下文化スポーツ課、保育園、小学校、中学校、坂下高校、青少年健全育成推進市民会議坂下支部
継続	協議会開催回数 教育の日	年 6 回 年 1 回	継続	加子母文化スポーツ課
継続	実施回数	年 1 回	年 1 回	付知文化スポーツ課
継続	―	実施	継続	少年センター（総括） 各コミュニティセンター 各文化スポーツ課 中央公民館

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	親子教室の開催	学校週５日制に伴い、小中学生を対象に少年センター、各コミュニティセンターで親子教室を開催する。
家庭の教育力の充実	親子で参加できるイベントの開催	各種の団体・機関と連携して、親子で参加できる各種体験活動を実施し、親子のふれあいや家庭における教育を見直す活動を支援する。
就学児童支援	子ども公民館講座「ゆきんこ」開設事業	放課後に保護者のいない家庭の小学校児童が対象。週 2 回（月、水）開設する。
就学児童支援	子ども公民館講座事業	地域の歴史や文化に体験的にふれる場の提供をしながら、社会性を培う。
就学児童支援	親子社会見学の推進	親子で自然体験や伝統文化体験などを通して、社会性、人間性を身に付ける。
就学前児童支援	若妻学級	保育園、小学校、中学校、社会教育の連携により、地区単位の学習会と全体学習を実施する。
就学児童支援	青少年健全育成事業の充実	児童が健やかに育ち、家庭や地域と適切な関わりがもてるように、地域での見守りや補導活動、啓発活動等の青少年健全育成活動を実施する。

今後の方向	項目	現状	目標 21 年度	担当課
継続	開催回数	8 回 11 回 5 回 10 回 4 回 5 回	8 回 12 回 5 回 10 回 4 回 5 回	少年センター（総括） 中央公民館 苗木コミュニティセンター 坂本コミュニティセンター 落合コミュニティセンター 阿木コミュニティセンター 神坂コミュニティセンター
継続	開催回数	6 回	6 回	山口文化スポーツ課
継続	開設回数 人数	週 2 回 23 人	週 2 回 23 人	川上文化スポーツ課
継続	定員数	50 人	100 人	付知文化スポーツ課
継続	開催回数	1 回	1 回	阿木コミュニティセンター
継続	実施回数	月 1 回	年 4 回	加子母文化スポーツ課
継続	―	実施	継続	少年センター（総括） 中央公民館 各コミュニティセンター 各文化スポーツ課

③　世代間交流を生かした教育力の向上

<table>
<tr><th>事業項目</th><th colspan="2">具体的施策</th><th>具体的施策の概要</th></tr>
<tr><td>就学児童支援</td><td colspan="2">公民館講座の開催</td><td>地区のニーズに応えて、講師を依頼し開催する。子どもからお年寄りまでが参加する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">就学前児童、就学児童支援</td><td rowspan="3">高齢者との交流活動の推進</td><td>高齢者との交流事業</td><td>各園で祖父母との交流（1～2 回/年）、老人福祉施設訪問交流（1～2 回/年）、地域ふれあい事業（2～3 回/年）、祖父母参観日（年 5 回）、老人福祉施設訪問（年 5 回）を実施する。</td></tr>
<tr><td>老人クラブ活性化事業</td><td>老人クラブ活動への助成、老人クラブ連合会主催シルバースポーツ大会において、園児とお年寄りが一緒に競技し、ふれあい交流を行う事業。</td></tr>
<tr><td>介護予防事業</td><td>各区サロンにおいて、園児との音楽療法、ふれあいウオーキング、パソコン等を通じて世代間交流を行う。</td></tr>
<tr><td>就学前児童、就学児童支援</td><td colspan="2">三世代交流の推進</td><td>子・親・祖父母が地域事業、保育教育機関の行事等を通じて交流する。昔の遊びや食べ物を通して交流することにより、地域の教育力を向上させる。</td></tr>
<tr><td>就学前児童支援</td><td colspan="2">地域住民との交流活動の推進</td><td>老人会喜寿の祝いに参加、地域運動会参加、地域夏祭りに参加、中村区ふれあいにぎわい芸能祭、元旦マラソン参加、地域文化展・作品展出展、独居老人配達弁当に絵手紙を描く、風神神社参拝、八幡神社七五三、節分祭。</td></tr>
</table>

今後の方向	項目	現状	目標 21年度	担当課
継続	開催回数	2回	2回	川上文化スポーツ課 付知文化スポーツ課
継続	実施回数	―	継続	保育園 幼稚園
継続	ふれあい交流事業の参加者数	800人	820人	高齢福祉課
継続	実施回数	4回	4回	福岡生活福祉課
継続	延べ開催回数	1回 3回 1回 1回 1回 33回	1回 3回 1回 2回 1回 33回	苗木コミュニティセンター 落合コミュニティセンター 阿木コミュニティセンター 神坂コミュニティセンター 中央公民館 坂本コミュニティセンター
継続	実施回数	年1回	年1回	保育園

④　食育の推進

事業項目	具体的施策	具体的施策の概要
就学児童支援	学校給食における「地産地消」の推進	農業女性グループ「アグリウーマン中津川学校給食部会」が小中学校の給食で地元の新鮮な野菜を食べてもらおうと、食材供給を行っている。児童と交流を持ちながら、生産者の顔が見える安全な野菜・加工品を供給している。
就学児童支援	学校農園活動の推進	農作業への理解を深め、心豊かな人づくりを推進する。また農作物の大切さを学ぶ。
就学児童支援	就学後の「食育」指導の推進	食生活改善推進員らと共同で実施する親子料理教室。
就学児童支援	就学後の健康管理指導	就学時健康診断、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、教職員の健康診断、各種検査を定期的に行うことにより、健康の維持・増進、病気の早期発見・早期治療を行い、健康でたくましい体づくりを推進する。
就学前児童支援	就学前の「食育」指導の推進	四季を通じ、作物を育て収穫、料理して食べる活動を通して食育に取り組む。
就学前児童支援	就学前の栄養教室指導	元保育園栄養職員等を迎え、実践で子育てに生かせるような食育アドバイスを得て料理教室を開催する。

今後の方向	項目	現状	目標 21 年度	担当課
継続	食材供給学校数	15 校	15 校	農業振興課
拡充	学校農園実施校	10 校	19 校	各小学校
継続	参加者数	20 人	40 人	健康医療課
継続	心肺異常発見者数	210 人	100 人	学校教育課 幼児教育課
継続	―	―	継続	幼稚園
継続	開催回数	4 回	5 回	苗木コミュニティセンター